

# 介護（整髪）の 終わりが分からない生徒への指導

～「指示待ち」から「主体的な活動」に～

県立川西高等特別支援学校 齊藤 英徳

## 介護施設にて整髪



- 「職業技能」…技能、意欲・態度を身に付ける学習
- 「介護」…整髪、ベッドメイキング、車いす移乗等
- 学校で練習し、介護施設の利用者の方に整髪を行う

髪を乾かし続けるAさん → **終わりが分からない**

## Aさんの行動分析

Aさんは、分からずにスタートし、教師が「よかれ」と思い支援



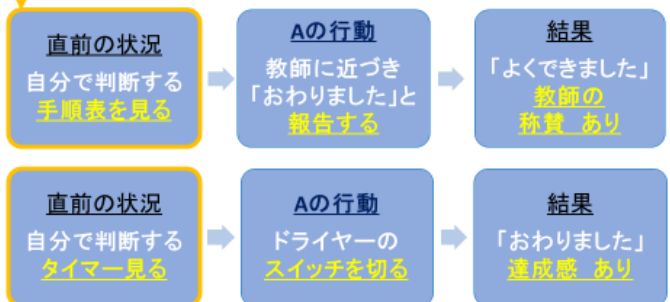
タイミングが分からない → **指示待ち**

## 指導・支援のポイント

- ① 最初は、活動前に**徹底的に**教える。
- ② 適した支援(環境⇄生徒)を考える。
- ③ 位置取り・時間等を**段階的に**調整する。
- ④ 「不適切」⇒「代替」⇒「適切」な行動へ
- ⑤ ○○先生もできる、「一貫した対応」に
- ⑥ 日頃からの人間関係を大切に

## 一貫した指導・支援

主体的な行動を引き出す、個に応じた適切な支援



「活動の終わり」が分かる → **主体的な行動**

## 行動の直前は

- 活動しやすい環境・背景「場づくり」
- 行動を引き起こす「手掛かり」
- 望ましい行動を示す「モデル」

## 行動の直後に

- 適切な行動には、「アメ」(称賛)
- 不適切な行動には、「アメなし」(対応なし・消去)
- 努力に対し、短く「よし!」「いいね!」

## Aさんの支援

- 教師がモデルを示し、相手の心情を伝える。
- 手順表を作成し、確認(復唱)して活動する。

- ③ 利用者の斜め後ろ(伝わりにくい場合は前)に立ち、「○○さん、整髪を始めます。」と言う。
- ④ 「○○さん、タオルで髪を拭きます。」と言い、タオルで髪の水分を取る。
- ⑤ 「○○さん、くしで髪をとかします。」と言い、くしで髪をほくす。

## 課題

- 良さを生かし、産業現場等における実習に接続